

令和7年度 全国学力・学習状況調査  
春日部市全体の調査結果概要（目的・概要等）

■調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■調査の概要

実施日 令和7年4月17日（木）

調査対象 1 原則として全児童生徒を対象とする。

【小学校調査】 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9学年

2 小・中・義務教育学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

- (1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
- (2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

調査事項 1 児童生徒に対する調査

(1) 教科に関する調査

①小学校〈国語、算数、理科〉

②中学校〈国語、数学、理科（CBTによる実施）〉

(2) 質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 学校に対する質問紙調査

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

■春日部市の学力調査結果の概要（教科区分ごとの平均正答率）（単位%：中学校理科以外）

	学年		国語	算数・数学	理科
R7	小6	市	67	57	56
		県	68	58	58
		国	66.8	58.0	57.1
	中3	市	54	48	496（IRTスコア）
		県	55	50	502（IRTスコア）
		国	54.3	48.3	503（IRTスコア）
R6	小6	市	69	63	※IRTとは、生徒の正答、誤答が問題の特性なのか、本人の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論。これにより学力の経年変化が把握できるようになる。（500を基準とする）。
		県	69	64	
		国	67.7	63.4	
	中3	市	56	49	
		県	59	53	
		国	58.1	52.5	

## ■教科に関する調査結果（小学校）

小学校 国語		平均正答率(%)
		春日部市
全体		67
学習指導 要領の 領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	78.8
	情報の扱い方に関する事項	61
	我が国の言語文化に関する事項	81.6
	話すこと・聞くこと	63.6
	書くこと	70.5
	読むこと	58.1

漢字に書き直す問題では、昨年度の低い正答率と反対に高い正答率となっている。また「図表などを用いて、自分の考えが伝たわるように書き表し方を工夫することができるかどうか」を見る問題においても正答率が高いため、普段から新聞やチラシ等でまとめる力が身につけていると考えられる。

【平均正答率が最も低かった問題】

- ・複数の人の意見、複数の資料（文章やグラフ）から目的に応じて必要な情報を見つける問題。（以下、問題の一部です。）

(1) 「話し合いの様子」の A に当てはまる内容として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 「資料1」の 部①

2 「資料1」の 部②

3 「資料1」の 部③

4 「資料1」の 部④

二 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、「資料1」を読み返しています。次の「話し合いの様子」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましよう。

【話し合いの様子】

ぼくが読んだ二つの資料（「資料2」、「資料3」）には、言葉が変化していることが書かれていたよ。「資料1」に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。

【資料4】

私は、この資料（「資料4」）を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとらえ方にちがいがあることが分かるでしょ。

本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、「資料1」に「A」と書かれているとおриだと思うよ。

言葉の変化については、いろいろな考え方があんだね。もう一度「資料1」を読み返して、言葉の変化について自分が一番なっとくしたことをまよめよう。

（文化庁「令和4年度国語に関する世論調査」による。）

「雨模様」の意味のとらえ方

世代	雨が降りそうな様子	小雨が降ったりやんだりしている様子
16-19さい	50.4	31.9
20代	43.5	42.9
30代	53.7	34.1
40代	53.9	33.4
50代	61.2	26.1
60代	52.6	33.6
70さい以上	46.2	39.8

木村さん 田中さん 木村さん 田中さん 木村さん

小学校 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		57
学習指導 要領の 領域等	数と計算	62.4
	図形	52.4
	変化と関係	57.1
	データの活用	62.1

異分母の分数の計算（たし算）と棒グラフから項目間の関係を読み取ることができ  
る問題については正答率が高  
いが、記述問題については  
引き続き課題が見られる。

【平均正答率が最も低かった問題】

- ・分数全般における意味理解と必要な言葉や式等を用いて記述する問題

3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



みおり

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 2 個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 1 個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2 + 1$  を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の 3 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の 2 個分です。

もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を  
書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。  
数や言葉を使って書きましょう。

### 【記述式問題について】

昨年に続いて、算数における記述式の問題の正答率が低く、特に分数に課題があることが分かった。分数の計算はできているので、「どうしてこのような計算になるのか」児童同士やみんなの前で説明をさせる活動などに取り組み、対策をする必要がある。また分数の概念について、どういった状態が $1/3$ なのか、数直線やイラストなど様々な角度から考えさせ児童に理解を促していきたい。

小学校 理科		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		56
学習指導 要領の 領域等	「エネルギー」を柱とする領域	43.5
	「粒子」を柱とする領域	50.9
	「生命」を柱とする領域	49.7
	「地球」を柱とする領域	66.6

実験をするにあたり、変える条件や変えない条件を答える問題や電磁石の強さを強くするためにコイルの巻数を変える問題の正答率が高い。身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引きつけられる物については課題が見られた。

### 【平均正答率が最も低かった問題】

- ・アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引きつけられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ問題。

(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の **1** から **4** までの中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

## ■教科に関する調査結果（中学校）

中学校 国語		平均正答率(%)
		春日部市
全 体		5 4
学習指導 要領の 領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	4 7. 5
	情報の扱い方に関する事項	
	我が国の言語文化に関する事項	
	話すこと・聞くこと	5 3. 9
	書くこと	5 2. 7
	読むこと	6 2. 2

物語文の問題「読むこと」においては全体的に正答率が高く、特に登場人物の性格やどのような人物として描かれているか捉えることができている。一方、自分の考えを書くなどの記述式の問題に対しては正答率が低くなっている。

### 【平均正答率が低かった問題】

- ・自分の考えとそうように考えた理由について記述する問題。（以下、問題の一部です。）

--	--	--	--	--	--	--	--

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

四 「……」で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のあとに続く話がかかれています。あとに続く話は、「一本の実」にはありますが、「二釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

中学校 数学		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		48
学習指導 要領の 領域等	数と式	43.2
	図形	46.7
	関数	46.2
	データの活用	62

データの活用（確率を用いて不確定な事象を捉えること）については高い正答率だった。一方、一次関数の  $x$  の増加量に対する  $y$  の増加量を求める問題と連続する3の倍数の和について予想したことが成り立つか記述する問題の正答率が低くなっている。

【平均正答率が低かった問題】

- ①一次関数の  $x$  の増加量に対する  $y$  の増加量を求める問題

**4** 一次関数  $y = 6x + 5$  の変化の割合は6です。この一次関数について、 $x$  の増加量が2のときの  $y$  の増加量を求めなさい。

※ $y$  の値を出してしまう誤答が多い。

- ②3の倍数の和について予想したことが成り立つか記述する問題

(2) 連続する2つの3の倍数の和は、9の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、 $n$  を整数として、連続する2つの3の倍数を  $3n$ 、 $3n + 3$  と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。

結菜さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 3(2n + 1) \end{aligned}$$

太一さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$$

結菜さんの式の変形の  $3(2n + 1)$  から、「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数である」ことがわかります。

太一さんの式の変形の  $2(3n + 1) + 1$  から、連続する2つの3の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「      は、……である。」という形で書きなさい。

中学校 理科	IRTスコア
	春日部市
IRTバンド	496
5	4.8
4	18.3
3	44.1
2	29
1	3.9

90%を超えるの正答率の問題もある（「火傷したときの処置」「一酸化炭素は空気より軽い、という性質を基に適切な避難行動を選択する」）が、考察をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する問題に課題が見られた。

【平均正答率が低かった問題】


- ・考察をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する問題

2

理科の授業で、ストローと水の入っているペットボトルで楽器をつくり、音について科学的に探究しています。

(1)、(2)の各問いに答えなさい。

ストローを上下に動かしたら音の高さが変わりました。

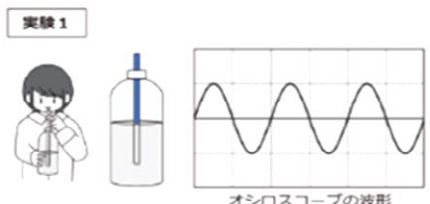


ストローの中に息を吹き込むと音が出るのは、ストローの中の空気が振動したからだよね。

音の振動の様子をオシロスコープで調べてみよう。

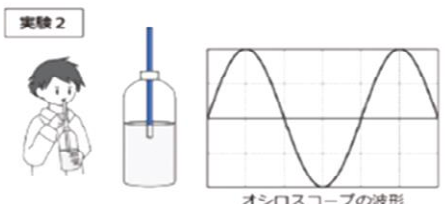
【実験】「ストロー内の空気が入る長さ（ の部分）」を変えて実験を行ったときのオシロスコープの波形を観察しました。

実験1



オシロスコープの波形

実験2




オシロスコープの波形


右のように【考察】しました。

【考察】  
「ストロー内の空気が入る長さ（ の部分）」が、長くなるにつれて、音はだんだん低くなる。

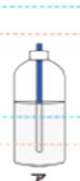
【考察】をより確かなものにするためには、あと1つ実験を行うとよいですね。次のア、イ、ウのどれで実験を行えばよいのかな。



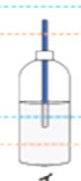
実験1




実験2



ア



イ



ウ

ストローの高さが分かるように補助線を引いている

(1)

下線部について、【考察】をより確かなものにするために1つ実験を追加するとしたら、上のア、イ、ウのうち、あなたはどの実験を選びますか、1つ選びなさい。

上のア、イ、ウのどの実験を選んでてもかまいません。

また、上で選んだ実験を行ったときに、オシロスコープの波形から何が分かればよいか、振動数という言葉を使って書きなさい。